



週報宇佐



孔雀文馨



RI会長
ロン D. バートン



第2720地区ガバナー
赤山 武興



宇佐ロータリークラブ会長
藤本 博和



陵王面

- 例会日 木曜日 PM12:30
- 例会場 宇佐市沖須町1-19
トキハインダストリー長洲店2F
TEL (0978) 38-1112

会長 藤本 博和
幹事 本庄 伸子
編集 津々良 洋一

本日のプログラム (7月18日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 五大奉仕委員長 年度方針発表
6. 出席報告

7月のプログラム予定

- 4日 藤本博和会長・本庄伸子幹事 年度方針発表
- 11日 外部卓話 富田江里子氏 (フィリピン・スービック)
- 18日 秋吉 実ガバナー補佐来訪
五大奉仕委員長 年度方針発表
- 25日 内部卓話 藤本博和会長、河村正一会員
「国際大会(リスボン)の報告」

第2261回例会 平成25年 7月11日 の記録

開会点鐘

- 🎵 ソング 我等の生業
- 🎤 ゲスト 富田江里子氏 (フィリピン セントバルナバマタニティーセンター)
- 🎤 ビジター 安部谷次郎君(豊後高田RC)、本庄康基君(宇佐八幡RC)、桐田実千代君(宇佐2001RC)

会長の時間

藤本博和会長

富田様、本日はようこそいらっしゃいました。
石部前会長に連れられ、手術後一ヶ月くらいの時にスービックへ伺ったのが約一年前です。非常に長い年月が経ったように感じてならないのですが、今日富田さんを柳ヶ浦駅でお迎えして、いつもの元気な顔を見せていただく事が出来、大変嬉しく思いました。

それから先日柳ヶ浦高校でインターアクトクラブの例会があったことを報告いたします。宇佐ロータリー

クラブからは磯永先輩を含め9名の方が出席者いたしました。斉藤新世代委員長大変お疲れ様でした。インターアクト生は11名の出席で、いよいよ今年度のインターアクトのスタートということで、皆様本当に熱心に参加していただき有り難うございました。

今日はその報告とお礼と言うことで、富田さんの時間を十分とっていただくために、会長の時間はこの辺で終わります。

USA-OITA

第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市江須賀2999-2 (株)ユニックス内
TEL. FAX : 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

幹事報告

本庄伸子幹事

1. 来信

- 1) ガバナー月信 1号 (保存ファイル) ; 配布
- 2) ガバナー事務所より「規定審議会決定報告反対表明について」 ; 回覧
- 3) 地区プライダル委員会より「今年度行事予定表」 ; 回覧
- 4) 豊後高田RCより「第2グループ 会長幹事会開催について (公式訪問打合せ)」
7月30日(火) 15:00～ ホテル清照にて

2. 例会変更

日出RC、津久見RC、別府RC、別府北RC
別府東RC、別府中央RC
※変更内容の確認は事務局まで。

3. 週報受理

大分キャピタルRC、津久見RC

4. 理事会報告

なし

5. お知らせ

- 1) 各委員長さんは活動方針の提出をお願い致します。 <期限 7月18日(木)>

6. 欠席連絡

末宗為十会員

7. 本日の当番

小野田義文会員、辛島光司会員

委員会報告

◎新世代委員会

齊藤順一委員長

先日7月8日にインターアクトの例会を柳ヶ浦高校で行いました。多くの会員のご参加を頂きありがとうございました。8月は高校が夏休みとなりますので、次の開催は9月となりますが、第3月曜日が祭日の為、第2週の9月9日を予定しています。ご参加の程お願い申し上げます。

また7月27日(土)・28日(日)にはインターアクト年次大会で熊本荒尾に行きますので、ご同行いただく会員には色々ご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

スマイルカード

宮丸龍昭委員長

本庄康基君 (宇佐八幡RC) : いつもお世話になります。いよいよ藤本会長年度が始まりましたね。1年間体調に気をつけて頑張ってください。又、幹事の伸子さんも良い思い出を作れるよう頑張ってください。

安部谷次郎君 (豊後高田RC) : 竹田豊君の入会を記念して。

藤本博和会長 : 富田さんよくいらして下さいました。よろしくお祈りします。

本庄伸子幹事 : 富田さん今日はよろしくお祈りします。

石部幸二会員 : ①富田江里子様ようこそ宇佐RCへいらっしました。本日はよろしくお祈りします。

②皆勤賞をいただきました。

廣瀬辰彦会員 : ①富田さんようこそ！ ②27年の皆勤バッジを頂きました。

佐藤憲三郎会員 : 富田さん遠いところ、ようこそおいで下さいました。

津々良洋一会員 : 富田江里子様、宇佐ロータリークラブへようこそいらっしました。

是永潤一会員 : 富田さんのご活躍聞かせてください。

藤久保茂己会員 : 富田さん、本日は本校での講演よろしくお祈りします。

河村正一会員 : 22年皆勤バッジを戴きました。これからもガンバります。

和田久継会員 : ①藤本丸の船出をお祝い申し上げます。②職業奉仕の為早退します。

宮丸龍昭会員 : 富田さん卓話よろしくお祈りします。

申し訳ありませんが、職業奉仕の為早退します。

😊ニコニコ累計

51,000円

前年度100%出席表彰



津々良洋一会員
(16回)

外部卓話

「フィリピンの小さな産院から」

富田 江里子氏

(フィリピン セントバルナバマタニティーセンター)

【石部会員より紹介】 昨年も来ていただいています、簡単にご紹介いたします。

看護師と助産師の資格をもっています。卒業後、青年海外協力隊に参加してモルジブ共和国で業務を行っており、帰国後にご主人の仕事の関係でフィリピンのサンバレス州スービックに移転されまして、主婦業の傍ら、フィリピンの貧困層の患者さんとの関わりによりお産の現状を知り、自分に何かできないかということで、2000年に個人でセントバルナバマタニティーセンターを立ち上げ現在に至っています。全てボランティアで行っており、日本の支援者からの寄付等で成り立っている様ところです。2007年TBS「情熱大陸」、2011年テレビ東京の「日曜ビッグバラエティ 世界で頑張る日本人」、今年の2月には日本テレビ「海を渡ったサムライ&なでしこ 世界が認めた日本人に感謝状 SP」でも取り上げられています。

フィリピンで小さなクリニックをしています富田江里子です。

まずは、昨年度宇佐ロータリーの皆様方から大変立派な救急搬送車を頂きましたことにお礼申し上げます。昨年はクリニックが必要な事だったり、途上国から学ばせて貰ったことを話しましたが、皆様の中で貧困の国際支援というと、いつまでも支援し続けなければならないのかという印象が拭いきれないと思います。貧困が貧困で有り続ける理由と、今後の関わり方について聞いて貰えればいかなど希望してやって参りました。今日はよろしく願いいたします。スライドを使って話をさせていただきます。



フィリピン、貧しい母子のための診療所 St.BARNABAS MATERNITY CENTER

診療所ではこんなことをしています！

1. 自然なお産経過を見守り、母子の健康・母子の絆の確立支援を行っています。
2. 母乳育児支援・家族計画支援により、家族の健康を促進しています。
3. 診療は無料、あらゆる病気・貧困で行き場のない患者のケアを行っています。
4. 貧しくて診療所まで来られない患者のため、移動診療をしています。
5. 様々な理由で栄養失調になった母子に食事支援をしています。
6. 手術が必要な貧しい子供のために奔走します。

ここフィリピンでは貧しいからと病院へ行けない、薬が買えない、どうしたら良いのか分からないと、途方に暮れている患者がたくさんいます。お産は早くから緊張させる、お腹を押すと言う間違った介助方法により亡くなる児も、適切な処置が受けられず死んでいく母親もいます。そんな貧しい母子のために、日々、診療とお産介助を行っています。全ての人は幸せになるために生まれてくる、そう信じています。



診療・お産介助やっています！

貧しい患者や妊婦を対象に、無料診療を行っています。妊婦健診やお産だけでなく、風邪や腹痛、心臓病、眼や皮膚病、様々な生活習慣病・癌やエイズなど、急性期から末期までの様々な患者のケアをしています。これ迄に6万人を超える患者と向き合い、2645人の赤ちゃんの誕生に立ち会ってきました。貧困では十分な医療の恩恵に与れません。病気を我慢する以前に病気になるようにすることが大切と、疾患予防教育も力を入れています。

現代医療だけがすべてで無いと、現地で安価に入手できる漢方薬の活用・マッサージや薬草・手当など、誰もが実践できるケアを提案・提供しています。移動診療・産後訪問など交通費のねん出が困難な患者のための巡回診療も行っています。



食事支援・栄養補助やっています！

貧しさ故に産直後から母親が仕事に出なければ、家族皆が生きていけないほど切迫した家庭も稀ではありません。産後直ぐの母親が無理をすると出血は止まらず、貧血は進み母乳も出ない、と母子双方の生命に危機が及びます。このような家庭にお米などの支援を行っています。母体を回復させて母乳育児ができる状態まで支援することで、母子の命を守ります。また、迷信や間違った病気の治療方法として医師に母乳を禁止されたが、市販ミルクを購入できない貧困家庭、ネグレクトや下痢・病気の重複で極度の栄養失調に陥っている乳児・幼児を対象にミルク・離乳食支援を行っています。これまで 100 人以上の母子が生命の危機を脱し、回復しています。



例会後、柳ヶ浦高校看護学科専門課程でもお話頂きました。



富田さんを囲んで (19:00～ 翔山)



手術が必要な命、応援します！

先天性奇形などで手術が受けられなければ亡くなる小さな命があります。しかし医療費が日本より高額なフィリピンでは、手術や検査費用も莫大で、貧しい患者の手が届くものではありません。そこで診療所では、広報をして支援を呼び掛けて、手術の実現に向けて奔走しています。昨年度は皆さまから寄せられたご支援でファロー四徴症のレチェリンちゃん 10 歳の根治手術が成功しました。

現在は水頭症のマックエバー君 5 か月の笑顔が見られる可能性があるかを調査中です。他にもほぼ単房・単室の心臓奇形を持つジョサ・メイちゃん 1 歳の治療など、全ての人は貧富の差に関係なく幸せになれると信じて、支援者を募り、日々情報を集めています。



● 富田江里子さんのブログ

フィリピン、貧しい母子のためのクリニックより
<http://blogs.yahoo.co.jp/barnabaseriko>

● 富田江里子さんの著書

『フィリピンの
 小さな産院から』



出席報告

米澤哲也委員長

第2261回 (7月11日)

会 員 総 数	33名
(内出席免除)	0名
出 席 数	30名
(内事前MU)	1名
欠 席 数	3名
出 席 率	90. 91%

回事前MU

末宗為十会員 (インターアクト例会)

回欠席者

小野田義文会員、住本憲彦会員、西中孝生会員